

～総務省からのお知らせ～

親子で選挙に行きましょう

親子一緒に投票所に行くことは、こどもが選挙を身近に感じられる貴重な機会になります。

こどもの頃に親の投票についていったことが「ある」人のほうが投票した割合が高いといった調査結果もあり、将来の投票参加に効果的と考えられます。

3月中旬頃に各都道府県選管宛てに親子連れ投票チラシを発送予定ですので、ぜひ本チラシもご活用いただき、親子連れ投票の積極的な呼びかけをお願いします。



～若者向け啓発活動紹介～

投票率向上検討会の開催について(兵庫県選挙管理委員会)

兵庫県選挙管理委員会では、近年の低投票率への対策として、今年度、新たに「投票率向上検討会」を設置し、若年層が投票に行ってみたくなる啓発のあり方等について検討を進めています。

1月に実施した検討会では、投票が楽しくなる投票所について、市区町の若手職員と意見交換を行いました。

選挙に無関心で、わざわざ投票に行こうと思わない人に投票してもらうため、例えば、子育て世代が行くような県内の娯楽施設や、地元プロスポーツチームのスタジアム等に期日前投票所を設置するといったアイデアが出されました。

また、投票所はお堅いイメージがあるので、投票所に少しアミューズメントの要素を取り入れたり、こどものイラストやBGMであたたかい雰囲気を出してみるのも良いのではないかという意見も出されました。

実際には公選法等の規制や予算の制約等があると考えられますが、本検討会では、ひとまず自由闊達に意見を出し合うことを主眼としています。

なお、今回は「投票率向上に向けた公民連携について」について議論する予定です。



▲検討会で使用した資料(抜粋)

主権者教育だよりへの情報掲載について

主権者教育だよりでは、主権者教育や選挙啓発に関する総務省や各選管等の取組みを広く情報発信しています。

自分たちの取組みやイベントを紹介してほしいという希望にも可能な限りお応えしますので、ぜひご連絡ください。なお、配信は毎月月末を予定しています。

【問合せ先】総務省自治行政局選挙部管理課選挙啓発係 仁木・寺田・馬場

Tel : 03-5253-5574 Mail : senkyo.kanri@soumu.go.jp

～主権者教育アドバイザー紹介～

令和6年1月に三重県立上野高等学校で講演しました！

主権者教育アドバイザー 高橋 勝也(名古屋経済大学法学部准教授)

1月24日(水)、三重県立上野高等学校にお邪魔しました。定時制課程での講演でしたので、外国籍生徒諸君もたくさんいてダイバーシティ豊かな雰囲気でお話させていただきました。

始めに日本の選挙活動や制度について、写真等を活用して理解いただき、フィリピンやブラジルなど出身国と日本のリーダーを選出する方法について、考察してもらいました。改めて、比較すると国家によって大きな違いや特徴があることに気づいてくれたようです。それらを踏まえて、模擬投票に挑戦していただきました。投票箱や記載台も自分たちでセットしていただき、本番さながらでした。初体験の生徒さんがほとんどで、笑顔を輝かせながら投票して下さったのが印象的です。どの国家においても、選挙は重要だと理解して下さったことがうれしかったです。



▲講演の様子

～明るい選挙推進協会からのお知らせ～

「情報誌VotersNo.78」を発行しました

特集テーマは「大人の学び」です。昨今、中高年の方々の学び直しが広がってきていますが、中には、主権者教育に通じる内容の学習が行われている例もあります。本特集では、NPO法人八王子市民活動協議会やNPO法人シブヤ大学、熊本学園大学、秋田県立能代高校、九州共立大学で行われている取組みをご紹介しますので、ぜひお読みください。

さて、Votersでは、主権者教育に資する内容を取り上げており、特に、近年は選挙が行う選挙出前授業に寄与できるような特集記事を掲載してきました。一方で総務省が公表している「出前授業を実施した選挙管理委員会の数」では665団体(33.9%、令和4年度調査)にとどまっています。学校側からの要請(希望)の有無、学校側との調整の結果等致し方ない面も多分にあるとは思いますが、いかに選管による出前授業を浸透させることができるか、といったことも本誌の課題として考えていかなければならないと思っています。皆様からも解決策や妙案等をお示しいただければ、本誌を通じてフィードバックしたいと考えておりますので、思い当たること等ございましたら、協会までお寄せください。よろしくお願いいたします。



【問合せ先】(公財)明るい選挙推進協会 Tel : 03-6380-9891